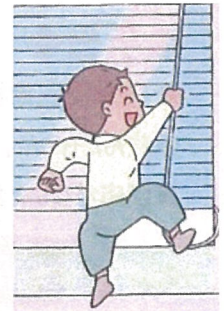
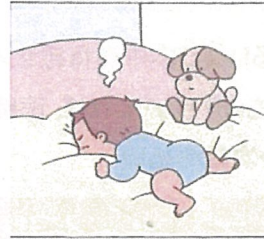


窒息

息が詰まって呼吸ができなくなることです。誤飲・誤嚥によるものの他、吐乳、布団やビニールで鼻や口がふさがれる、ベッド柵、ひもで首がしめつけられるなどが原因となります。

◆事故の予防◆

- 子どもの寝返りや吐乳に気を付ける。
- 掛け布団やタオル、ひもなどが顔にかからないようにする。
- 子どもが誤って飲み込んだり、吸い込んだりする恐れのあるものは、子どもの手の届かないところに置く。
- 誤嚥・窒息につながりやすい食材には注意を払う。
- 豆やナッツ類は誤嚥して気道に入ると油分が溶け出し、肺炎の原因になることがあるので、5歳までは与えないようにする。



◎誤嚥・窒息につながりやすい食べ物の形状や性質	
弾力があるもの	⇒ こんにゃく、きのこ、練り製品 など
なめらかなもの	⇒ 熟れた柿やメロン、豆類 など
球状のもの	⇒ ブチトマト、ブドウ、サクランボ、乾いた豆類 など
粘着性が高いもの	⇒ 餅、白玉団子、ごはん など
固いもの	⇒ かたまり肉、えび、いか など
唾液を吸うもの	⇒ パン、ゆで卵、さつま芋 など
口の中であばらになりやすいもの	⇒ ブロッコリー、ひき肉 など
◎安全な食べ方のポイント(子どもに伝えること・大人が留意すること)	
○伝えること	
● 食べることに集中する。 ● 水分をとってのどを潤してから食べる。 ● 詰め込みすぎない。 ● 口の中に食べ物があるときは話をしない。 ● よく噛んで食べる	
○留意すること	
● 姿勢を整える。 ● 食べやすい大きさにする。	

(参考)「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」(厚生労働省)

◆手当◆

- 気道異物除去の手順により手当(乳幼児の一次救命処置)

